



福島県立梁川高等学校

令和元年7月25日

校長だより

知性 誠実 責任

第 32 号

■ 中学生体験入学

7月25日（木）に梁川高校の「中学生体験入学」が行われました。多くの中学生と保護者の皆さに参加していただきました。学校紹介や高校生による体験発表、国語、英語、家庭の体験授業、部活動紹介などのプログラムが用意され、中学生の皆さんは、すばらしい態度で参加し、緊張しながらも懸命に話を聞いたり、授業に参加したりしていました。

◇ 校長あいさつ

中学生の皆さん、保護者の皆様おはようございます。

さて、中学生の皆さんに問題です。「百聞は一見にしかず」という言葉を知っていますか。高校生の皆さんは知っていますね。「百聞」というのは百回聞く、「一见」は一度見る、「しかず」というのは及ばないという意味です。百回聞くよりも一回見たほうがよいということです。

皆さんは、今まで先生方やお家の方、先輩、同級生など、いろいろな人から様々な高校の話聞いてきたことと思います。それは大事なことです。今日梁川高校にきて、実際に見てみるというのはとてもいいことだということです。

では、「百聞は一見にしかず」にその先の続きがあることを知っていますか。大人の人でも知っている人は少ないと思います。「百見は一考にしかず」です。百回見るだけでなく、一度じっくりと考えることが大切だということです。見るだけでなく考えないと意味がないということです。体験入学が梁川高校だけの人もいれば、他の高校にもいく人もいることと思います。ぜひ見たあとに、自分で考えてみてください。

梁川高校のいいところ、魅力を3つ紹介しておきます。

一つ目は、生徒一人一人を大切にする学校だということです。高校生の皆さん、そうですね。二つ目が、生徒と先生方の距離が近いことです。先生方がすぐ側にいるので、話しやすい雰囲気があります。そして、三つ目が生徒の希望進路を100%達成することです。大学にいきたい、短期大学に進みたい、専門学校に入りたいといった進学希望、あるいは私は就職したいなどの希望を100%叶える学校です。過去3年間100%を達成しています。

生徒の皆さん、梁川高校をよく見て、そしてよく考えてください。保護者の皆様、いろいろと聞いてみたいことがおありかと思います。ぜひ近くの教員に声をかけていただき、たくさんの情報を持ち帰ってください。お昼までの時間、どうぞよろしく願いいたします。

◇ 体験発表

私は松陽中学校出身の湯原正隆です。

私は梁川高校に入学してから、生活が大きく変化しました。中学校では勉強が分からず置いてけぼりで自分の力を発揮できず、友人関係でもうまくいかずに、大変な思いばかりしてきました。しかし、梁川高校で新生活が始まって全てが良くなりました。周囲の人となじめなかった私が人と接し自分の良さを認められ、団結力のある優しいクラスが私を迎え入れてくれました。

勉強面では、中学校では分からないところがそのまま止まっていたのですが、梁川高校の先生方が分からないところを適確に教えてくれるので、ここはこういうふうにすれば良いのかと理解力が深まります。授業では梁川高校の特徴である「学び直し」で、中学校の復習を行ってから高校の勉強に入るので、中学校までの分からないことが解消されて授業に臨むことができ気持ちが楽になります。

次に部活動についてです。私は現在華道部部長ですが、最初の頃は、花の知識など全くなく、右も左も分からない状態でした。しかし講師の先生が優しく教えてくださり花の生け方のコツが段々と分かるようになりました。部活動が楽しくなっていき、続ける中で部長を任せられるようになりました。

学校行事では、梁華祭と呼ばれる文化祭を毎年開催しており去年は3年に一度の公開文化祭でした。梁華祭を盛り上げようと、クラスが放課後の時間まで準備を進めました。皆が活躍し、梁華祭は大成功で終わりました。

最後に進路についてですが梁川高校は就職が主であり、それまでの間、先生方が生徒一人一人を手厚くサポートしてくれます。具体的には先生方3人生徒1人の面接練習や履歴書作成などがあります。

中学生の皆さん、梁川高校に入学したら、ぜひ自分の夢を実現してください。

私は霊山中学校出身、三年二組の大橋洋文です。この梁川高校に入って良かったことについて話します。

大きく分けて3つあります。一つ目は勉強面です。私は中学校にいた頃は全く勉強ができませんでした。成績も良いとは言えませんでした。しかし、梁川高校に入って大きく変わりました。基礎から教えてくださる先生方のおかげで中学校の頃の成績よりもずっとよくなりました。二つ目は部活動です。梁川高校の部活動は、数は少ないですが、各部が目標をもって一生懸命に活動しています。例えば私が所属している部では、楽しく、なおかつ真剣に活動しているので、とても気に入っています。最後の三つ目は学校生活です。梁川高校は他の高校と比べ少人数ですが、逆にそこが強みで、クラスの全員と仲良くなることができます。私は霊山中学校から一人で入学し、一から友達をつくることになりましたが、入学してすぐ他の中学校出身の人たちと仲良くなることができました。そして、年に数回行われる学校行事で絆がより深まっていきました。

以上、梁川高校の良いところを3つ挙げましたが、まだまだ良いところはたくさんあります。ぜひ、梁川高校に入学してくれることをお待ちしております。